

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-6-2	事務事業名 図書館所蔵の歴史的資料の修復及び保存・活用	所管部課 教育部 図書館
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	図書館が所蔵する歴史的資料を修復、保存し、市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会を充実するとともに、広く市民への公開に努める。		☒ 法律 ☒ 条例・規則 ☒ 政令・省令 ☐ 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等 該当する予算事業名・節目を明記する		
	西東京市振興基金事業として、図書館が所蔵する歴史的資料の修復事業に取り組んでいる。修復は、平成19年度厚生労働省認定卓越技能者「現代の名工」、15代目石井三太夫氏に委託している。平成21年度は、旧田無市最古とされる寛文十年(1670年)の御検地帳を修復する。 1 修復事業 (1) 平成19年度 / 地租改正絵図 (2) 平成20年度 / 元禄三年(1690年)田無村御検地帳 (3) 平成21年度 / 寛文十年田無村御検地帳その1 2 公開事業 (1) 展示会・講演会 平成20年3月8日(土)、9日(日) 東京大学史料編纂所教授、保谷徹氏講演「西東京市の歴史と文化財」(2) 展示会・講演会 平成21年3月7日(土)、8日(日) 15代目石井三太夫氏講演「伝統表具の技を伝える～文化財修復を通じて」(3) 展示会・講座(予定) 事業名「地租改正絵図修復委託」「田無村御検地帳修復委託」 一般会計 款03教育費 項05社会教育費 目03図書館費 節13委託料		
事業開始時期		平成19 年度	実施形態 ☒ 直営 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他 ()

事業費データ	項 目	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)			4,863	4,400	7,418
	財源: 国庫支出金・都支出金	千円				
	財源: 地方債					
	内訳: その他 (西東京市振興基金)			4,860	4,400	7,410
	財源: 一般財源		0	3	0	8
	所要人員(B)	人		0.11	0.11	0.11
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	910	898	898
	臨時職員等賃金(C')	千円		17	17	17
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	5,790	5,315	8,333
単位当たりコスト						
(E) = (D) / (展示会講演会参加者数)			千円	#DIV/0!	38.6	36.4
						#DIV/0!

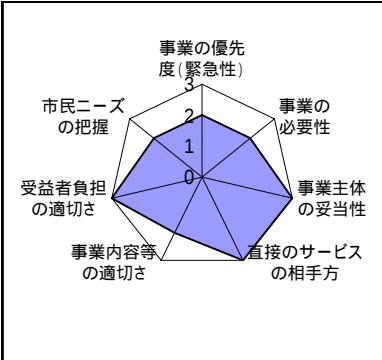
評価指標の設定

活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
修復点数	実績値	巻・丁		5	426	350
展示会講演会日数	実績値	日		2	2	2
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成19年度修復の地租改正絵図は、地域図4巻と奥書1巻の計5巻の軸物。平成20年度の元禄三年田無村御検地帳は、七冊の内、開扉不能であった六冊分426丁を修復した。平成21年度の寛文十年田無村御検地帳については、元禄以上に資料の保存状態が悪く、汚れ、染み、劣化が進み、虫食い状態のため開扉不能である。修復のための技術や時間がさらに必要であり、レプリカ製作を含めて事業費増額となった。						
成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
一次 展示会講演会参加者数	目標値	人		100	100	100
	実績値	人		150	146	
二次 満足度	目標値	%		100	100	100
	実績値	%		97	80	
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)平成19年度地租改正絵図修復、平成20年度元禄三年田無村御検地帳修復に伴い、実施した記念展示及び講演会の参加者数。展示会参加者数は増えていくが講演会参加者数が減ったことについては、会場が変わったことによると思われる。平成19年度の参加者数については、田無市史編纂委員であり、西東京市文化財保護審議会会長も勤められた市内在住の保谷徹氏を講師に招き、西東京市の歴史に重点を置いた講演であったため、郷土西東京への市民の関心の高さが表われた結果と思われる。 (二次)参加者に対するアンケートの満足度とした。						

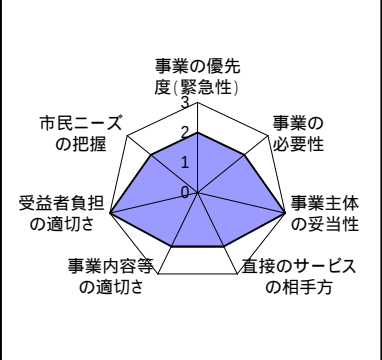
事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	展示会、及び講演会でアンケート調査を実施した結果、貴重な歴史的資料が残されていたこと、その資料と歴史を結びつけた内容について評価する意見が多く、郷土への関心の高さが伺えた。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	☒ 上 ☐ 中 ☐ 下	小平市では、「小平市新長期総合計画後期基本計画(平成8年度～平成17年度)」にて、図書館の地域資料の収集・保存が主要施策として位置づけられ、平成11年度東京都文化財保存事業費補助金交付により修復事業を実施した。その他の市町村では該当事業は見当たらない。
	代替・類似サービスの有無	☐ 有 ☒ 無	特になし

事業コード 9-6-2	事務事業名 図書館所蔵の歴史的資料の修復及び保存・活用	所管部課 教育部 図書館
施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価 ☐ 拡充 ☒ 継続実施 ☐ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	○ 検証項目、評価の判断理由 ○ 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目		西東京市民の共有財産として、歴史的資料を修復・保存・公開する本事業は市の重要な責務である。また、修復が必要な資料が多数残されているため、早期に事業に着手し、計画的に事業を展開していく必要がある。展示会、講演会におけるアンケート調査からは、歴史的資料の保存に関する一定の市民ニーズが把握でき、資料室利用者(研究団体・者)からも歴史的資料の保存に関する要望がだされている。
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価 ☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	○ 検証項目、評価の判断理由 ○ 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目		西東京市の歴史的資料の修復・保存については、市の重要な事業であると考えられる。これまでは、伝統文化を伝承する事業との位置付けで振興基金を活用して実施してきたが、限りある財源に対して修復すべき資料がまだ多く存在することから、今後の実施にあたっては、歴史的な重要性・保存状態等に配慮し、資料に修復の優先順位をつけるなど、費用対効果を考慮した事業の実施が望まれる。また、修復した資料を有効に活用できるよう、市民への公開方法等についても十分に検討されたい。
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	市民の共有財産である歴史的資料の修復・保存は、市民の学習機会を充実させる観点から、市が実施すべき事業であり、資料の保存状態による修復の優先順位に留意しながら、計画的に修復・保存を実施したうえで、市民への公開等の有効活用に努められたい。